

編輯者あとがき

講究録は研究発表機関であることに変わりありませんが、現在の日本の現実にのみならず、
私達は Original な論文のみでなく、論文や
の紹介とか、講義の連載と云ふ様なこともや
り度いと思ひます。

それは現在の日本では書物もなく、又新しい
統計学の外国書も手に入れ難いので、統計学
に興味を持つて居ても講究録も讀めない
ふ様なこともあると聞きますので、先づ R.A.
Fisher 以後の新しい統計学の講義を増山兼
任所員にでもお願ひして才ニ巻、才五号あた
りから連載し度く思ふて居ります。
又時には古典的な原論文の翻譯のやうなもの
も載せ度いと思つて居ります。

さうして講究録を現在のものより、より普及性
あるものとすることが、現在又重要な意義を
持つものと思ひます。

(T.O)